

わたしたちの町

人口(男)4,753人 (女)5,081人 計9,834人
4月中の転入87人 転出90人
世帯数2,296世帯 (4月末日 住民登録人口調)

広報

交通安全キャンペーン

新入学児の交通安全

通学路を

実際に歩いてみよう

新入学児をお持ちのお母さんは、学校の行き帰りが、とくに心配でしょう。

お子さんを交通事故から守るために、次の点には特に気をつけましょう。

通学路を実際に歩いてみよう

通学時間に合わせ、お母さんがお子さんといっしょに通学路を何回か歩いてみましょう。そのうえで、信号の見方や正

余裕をもって登校させよう

しい横断の仕方などについて、具体的に教えるようにしましょう。また、同じ道でも、曜日や時間によって車の量や人通りなど交通状況が変わることも、あわせて注意しましょう。



うにしましょう。また、時間的にも十分余裕をもって送り出すようにしたいものです。

帰宅時間を約束させよう

途中で忘れものに気がついてあわてて取りに戻ったり、遅刻しそうな急いで帰る様子がないようにしよう。学校が終わったら、寄り道をしないで、まっすぐ帰宅させるようにし、帰宅時間を約束させ、しっかり守らせることも、交通事故を防止するうえで大切です。



濁流で道路が決壊。羽根山地区は孤立状態に一。(7日午前7時)

雪どけ水が道路を寸断 被害額5億3千万円余り 浸水127世帯

4月6日

四月六日。朝がたから降り続いた雨が、雪どけ水とあいまって、町内の河川が氾濫(はんらん)。

西根田 金田正子さん 真夜中の一時ころが最高水位で、床まであと五センチぐらいいまできました。子供とおばあちゃんは本家に避難させて、ふとんや家具を、二階にあげました。



おばあちゃん、いっしょに寝た。おばあちゃん、いっしょに寝た。おばあちゃん、いっしょに寝た。

4・6 水魔の記録

子供たちを避難させて 西根田 金田正子さん 真夜中の一時ころが最高水位で、床まであと五センチぐらいいまできました。

47年の大水害に続いてまたも

増沢 奈良隆治さん 四十七年の大水害の経験があつたので、家財は早めに移しました。部落の人たちにも手伝ってもらつたおかげで、床まで水がきました。

災害復旧に 七千三百五十万円余を追加

臨時町議会 臨時町議会は、四月十四日、二十四日に開会。補正予算、助役の選任など次の十議案を可決しました。



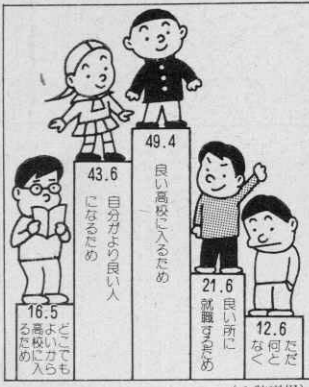
土濃塚助役

町長日記から

「おばあちゃん、いっしょに寝た。おばあちゃん、いっしょに寝た。おばあちゃん、いっしょに寝た。」

学習

勉強の目的 (中学生全体) 単位%



勉強の目的
 高学年になるにつれて、「自分がより良い人になるため」が減り、半面、当面の進学・受験を勉強の目的とする者が増えている。また、「みんながしているから」「ただなんとなく」といった目的を持たない者も増加している。

勉強の目的

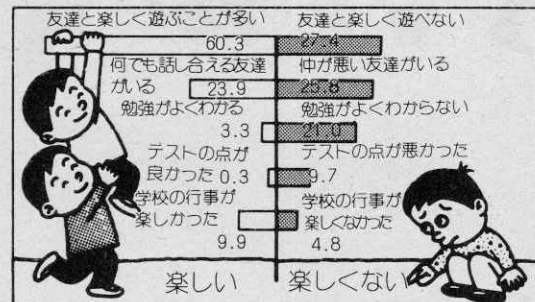
高学年に多い
「なんとなく……」

学校生活

楽しさは友人関係に

小・中学生とも

友だちとの交際に学校生活の楽しさを感じている者が多い。



南保育園

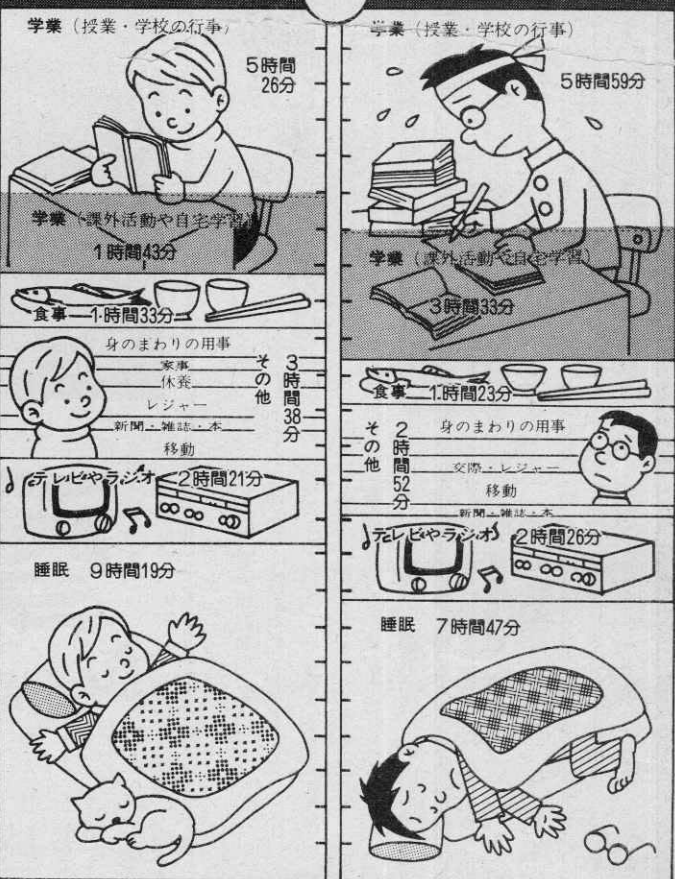


写真は町内各保育園の入園式スナップです。

平日の子供の生活時間 (小・中学生別)

小学生 (10歳以上)

中学生



特集

目で見る "こども白書"

うちの子どもよその子 子供たちは今……

54年版・青少年白書から

すこやかに育て

子供たち

楽しいとき

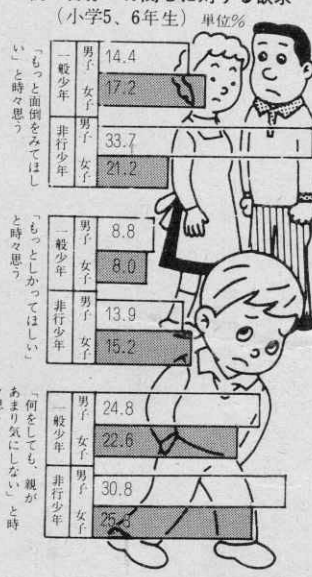
男女とも「テレビ」と「友人」

男女とも二人に一人は「テレビ」と「友人」をあげている。男女差の大きいのは「スポーツ」で、男子は二人に一人が楽しいとしているのに対し、女子は四人に一人にとどまっている。また、小学生に比べて中学生に目立って多いのは「音楽や趣味」「一人でいるとき」。

子供の楽しいとき (小学5、6年生) 単位%



親の自分への関心に対する欲求 (小学5、6年生) 単位%



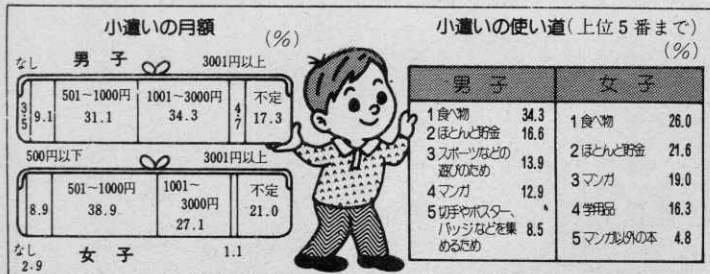
親との触れ合い

親の関心の薄さに不満も

小学生では、親がもっと自分に

親の関心を持つて欲しいとする者は少ないが、中学生になると、男女とも親の関心の薄さを感じる者の割合が20%を超え、かなり多くなる。

子供の小遣いの額と使い道 (小学5、6年生)



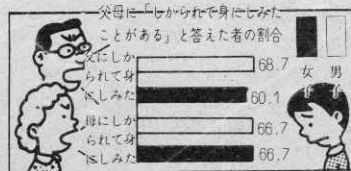
小遣い
 月額で小学生は千円以下、中学生は千円~二千円がとうやらの平均値で、男子の方が女子に比べて幾分多い傾向がみられる。使いみちは、小学生は男女とも「食/物」、「マンガ」それに「貯金」がめだつ。中学生になると「食/物」の比重が減る。そのほかの支出項目が増える。



北保育園

しつけ

六割以上が「しかられて身にしみた」。子供は、親のしつけによって、家庭や社会のきまりを身につけていく。親からのしつけや注意は、女子より男子の方がよく受けており、また、六・七割が親にしかられて「身にしみた」と率直に反省している。





東保育園

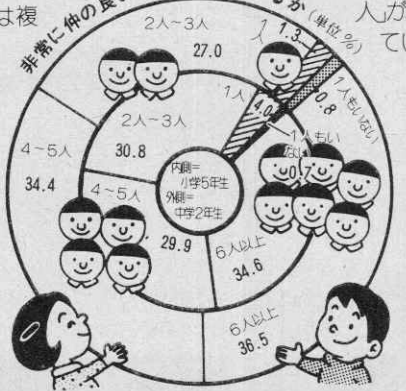
特集 目で見る 子供白書



西保育園

友人 男子「6人以上」女子「2-3人」

「非常に仲のよい友人」のよい友人を持っている。友人数では「6人以上」が男子に多く、女子は「2-3人」がめだつている。



友だちと人間関係

話題 余暇(男子)と他人のこと(女子)がトップ

全体的な傾向として、男子は「余暇」に関する話題が大きなウェイトを占めるのに対し、女子の場合は、「他人」についてのおしゃべりが多いのが特徴。話題のトップは男子が「テレビ、映画、音楽」で、女子は「異性、男女交際」。「社会の出来事」は、ほとんど話題にのぼらないようだ。



3肢選択 上位4番まで(%)

友だちいっぱい

将来—趣味を生活にいかして

生きがい 中学生では約六割近くが生きがいを感している。男

子は「スポーツや趣味」のウエイトが高く、女子は「友人・家族・好きな異性」など、人との触れ合いに生きがいを感している割合が男子より多くなっている。



将来の暮らし方

男女とも「趣味にあつた暮らし」がトップで、それぞれ約3割を占めている。男女差の大きいものをあげると「いい人と結婚して楽しく暮らす」は女子が男子の約3.5倍も多いのに対し、「金持ちになりたい」は男子の方が多く、女子の約2倍となっている。

子供を語る

子供の生活環境としては、家庭と学校、社会の三つをあげることができですが、いま一番問題なのは、やはり家庭での親のあり方でしょうね。

親の本当の愛情を求めている

高度経済成長の過程で、親の意識が、とかく物質的な充足に向けられ、その反面、子供が疎

れでいいのですが、ふだん子供をかばってやれないという引け目をついつい小遣いの額を増やしたり、物を買ってやったり

した親子関係のもとでは、子供は社会とのつながりを持ち得ないからだと思います。子供の社会性は、家庭の中で

の親子の交流や友だちとのつきあいの中で身につけていきます。お母さん方は神経質になりすぎて、ハレものに触れるように子供と接する—これでは逆効果です。じっくり話し合う親子の会話が、もっとも必要です。それと同時に、お父さん「弱父」は、子供によい影響を与えません。

外されていったということがいえると思います。

ひとつの例をあげますと、夫婦共働きでがんばる、それはその子供の非行や自殺という反社会的な行動が増えるのも、

増えるのも、

お知らせコーナー

町のこよみ

- 五月 (行事予定)
- 10日 愛鳥週間
- 13日 知事来町
- 15日 おはよう野球前夜祭
- 28日 おはよう野球開幕
- 六月
- 1日 誕生の森植樹
- 4日 歯の衛生週間
- 5日 環境週間
- 9日 町民テニス教室
- 10日 高齢者体力づくり (東地区)
- 11日 「西」12日「南」
- 13日 「北」
- 14日 りおだ講座移動研修
- 15日 父の日
- 20日 こぶき大学運動会

火葬場からのお願

組合火葬場(森吉町)では、「死体を焼却する場合、できるだけ物を入れないように」と呼びかけています。

募集 県の海外研修

- (イ) 青年婦人海外研修：十月一日〜十四日、西ドイツ他五カ国
- (ロ) 中核農業者研修：十月五日〜十八日、西ドイツ他二カ国
- (ハ) 商工青年研修：十月五日〜十八日、西ドイツ他三カ国
- (ニ) 社会教育研修：十月一日〜十四日、西ドイツ他二カ国

春の防犯運動 実施中

特に危険がいつぱいあります。みんなで注意しましょう。

増改築に融資

お年寄り(六十歳以上)と同居する家族が、お年寄り専用の部屋を増改築する場合、老人居室整備資金をご利用ください。

「明日の秋田」に提言を募集

小中学生の部 テーマ 私達の明日の郷土(二十歳以内)

注意 感電事故

鯉のぼりのポールは安全ですが、建設作業時や、魚つりも周囲の電線に気をつけて、風上げ等電柱、大館税務署総務課(電話一八六四二一〇六七)

募集 自衛隊員

資格：昭和二十八年四月二日〜三十四年四月一日まで

特別納付は六月まで

保険料を納め忘れられた人のための「特別納付」は、六月末日で締切ります。あなたの年金を守る最後のチャンスです。

募集 国税専門官

資格：昭和二十八年四月二日〜三十四年四月一日まで

指導センター・営農広報

冠水田の対策

いもち病予防に万全を

- ① 水路の補修、流入した砂利などを排除する
- ② 生ワラが流入堆積すると土壌が乾きにくいので、早急に取り除く
- ③ 泥土が流入した水田にそのまま作付する場合、

おそ霜対策

気温の変化、テレビ等の天気予報「霜注意報」に気をつけて、農作物を守りましょう。

祭典の合理化を

合川全町の秋祭りを九月十五日に統一できないものか。行ったり来たりムダがなくなり、生活改善には一番よいことだと思えます。九月は、お祭りが多いため、お酒の飲みすぎを悪くさん人たちが身体を悪くします。合川町の成人病対策も、こんなことから改善しなければならぬと思います。(一部略) (駅前・佐藤キヨノさん)

